

図書館だより

平成29年8月20日発行

No.Ⅲ－第1号

編集・発行 武蔵野市立図書館

TEL 0422-51-5145(中央)

図書館ホームページで蔵書検索、貸出・予約状況確認、延長手続き、読書記録、お気に入り資料の登録ができます！

URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/>

モバイル版 URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/m/>

武蔵野市立図書館は今年70歳になりました！



武蔵野図書館
(旧中央図書館)



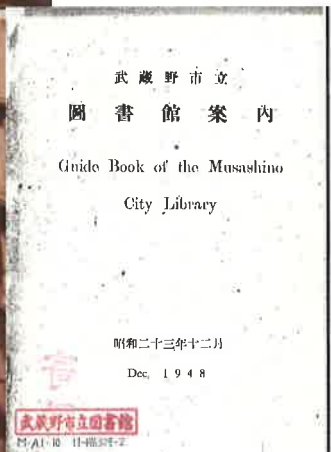
西部図書館



中央図書館（現在）



旧中央図書館
書架にて



図書館案内 昭和23年



ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス



吉祥寺図書館

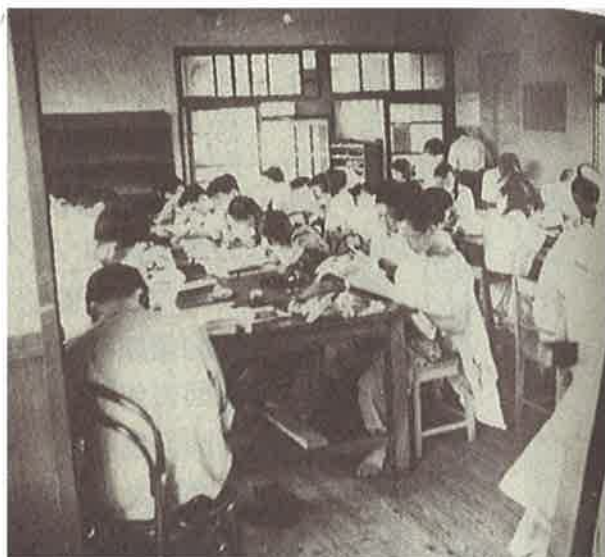
昭和22年11月に武蔵野町立図書館から、武蔵野市立図書館に改称して今年で、ちょうど70年。武蔵野に図書館ができたのは、まだ武蔵野が町だったころ、昭和21年8月ですから、そこから年を数えると、正確に言うと71歳なんではないでしょうか？

でも、市立図書館としては70歳。人間でいうと古希。そこで、武蔵野市の図書館の歴史を懐かしい写真とともに振り返ってみました。

武蔵野に図書館誕生

昭和21年7月25日、第四国民学校の一部に町立図書館設立。同年8月8日に、東京都から公立図書館として正式に認可を得ました。これは東京都市町村立図書館の中で、戦後最初の開館でした。当初、蔵書の中心は、戦災を逃れた都立四谷図書館と下谷図書館の蔵書を、希望する市町村へ疎開という形で寄託された数千冊の基本図書でした。当時は、新刊図書の少なかったこともあり、多くの町・市民に意欲的に活用されました。
〔武蔵野市教育史第2巻〕より）

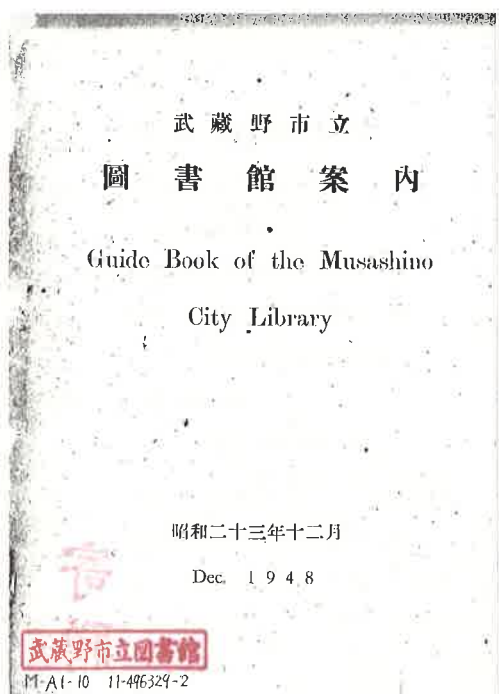
昭和22年 蔵書冊数 5,615冊
閲覧者総数 14,520名
〔事務報告〕昭和22年より



昭和22年11月 市制施行に伴い、武蔵野市立図書館と改称

当時は、第四国民学校（昭和22年4月1日 校名変更により第四小学校）の教室を利用した図書館でしたが、児童数の急増で、教室不足になり、昭和23年9月、旧市役所前の平屋建ての読書室（現・中央図書館の建っている場所です）に移転しました。そこは、占領軍の払い下げ資料図書を公開展示していた「軍政部読書室」との同居でした。軍政部読書室は、将校の見終わった英文雑誌30~40種類を備えたものでしたが、きれいな写真を見るだけでもと、利用は多かったそうです。この年の暮れに発行された「武蔵野市立図書館案内」に英語の表記があるのは、そのせいではないでしょうか。ちなみに中は日本語です。

昭和23年 蔵書冊数 5,827冊
閲覧者総数 20,498名
〔事務報告〕昭和23年より



昭和29年5月 武蔵野市立図書館だより 第1号 発行

この年に、図書館だよりの第1号が発行されました。



1ページ目には、こんな内容が書いてあります。

「発刊の辞 武蔵野市教育委員長 澤登正齊

～本市立図書館は図書館法制定以前、然も市制施行以前に町立図書館として昭和二十一年八月八日都長官の認可を得て創立したのである。当時の理事者の卓見と云わなければならない。その当時、町立の公共図書館は都下随一でその発達は注目の的であった。」

そして最終の4ページ目には、当時の状況と、利用案内が書かれています。

昭和29年4月の開館日数 28日

来館者総数 1,749人 1日平均 62人

閲覧図書数 3,715冊 1日平均 133冊

開館日 毎月15日（掃除日）と祝日を除き年中無休

平日 午前8時30分～午後5時

土・日 午前中

貸出 市内に確実な保証人のある方、1回1冊、10日間

昭和38年7月 吉祥寺北町4-8-11に武蔵野市立武蔵野図書館開館

昭和38年、現在は空き地となっている場所に、鉄筋コンクリート造り3階建ての図書館が完成しました。

少年時代にこの図書館を利用した方が、今はお孫さんと図書館に連れ立っていらっしやいます。「少年時代、新しい図書館に行って、たくさん本を読んだんだよ」と懐かしく思い出していただくのが、うれしい限りです。

当時の興奮が伝わる
ようです。
3色違う利用案内を
作っています。



昭和42年5月 読書の動機づけ指導実施

昭和41年 蔵書冊数 35,021冊
閲覧図書冊数 52,698冊
「事務報告」昭和41年より

昭和40年10月、大野田小学校3年生の1クラスを対象に読書の動機づけ指導研究大会が実施されました。これをきっかけとし、武蔵野市の読書の動機づけ指導が開始されることになりました。当初は、児童・保護者を図書館にお招きしての事業でしたが、だんだん交通量も増えてきたので、児童の安全確保の観点から、各学校を訪問する現在の形になりました。

この長年の活動が認められ、平成14年4月、武蔵野市立中央図書館は、文部科学省より、「子どもの読書活動優秀実践図書館」の表彰を受けました。



子どもモデル読書指導
市内小学校三年生が対象

昭和42年 第1回読書の動機づけ指導の選定図書です。今でも子どもたちに大人気の「ちいさいうち」「長くつ下のピッピ」「ちいさいモモちゃん」などがあります。読書の動機づけ指導は、平成29年、50周年を迎えます。当時小学3年生の9歳児は、なんと59歳。

書名	著者名	出版社	出版年	選定年
うんがにおちたうし	フィリス・クラシロフスキー/文 ピーター・スバイア/絵 みなみもとちか/訳	ポプラ社	67	S42
えすがたにようぼう こどもの民話	今江祥智/文 赤羽末吉/絵	盛光社	67	S42
かにむかし 日本むかしばなし	木下順二/文 清水崑/絵	岩波書店	59	S42
きかんしゃやえもん	阿川弘之/著 岡部冬彦/絵	岩波書店	59	S42
ちいさいうち	バージニア・リー・バートン/文・絵 石井桃子/訳	岩波書店	54	S42
泣いた赤おに	はまだひろすけ/著 梶山俊夫/絵	偕成社	62	S42
いやいやえん	中川李枝子/作 大村百合子/絵	福音館書店	62	S42
駅長さんと青いシグナル	大石真/著	実業之日本社	65	S42
ごんぎつね	新美南吉/作	偕成社	不明	S42
龍の子太郎	松谷みよ子/作 田代三善/絵	講談社	66	S42
たぬき学校	今井蒼次郎/作	講学館	58	S42
太郎コオロギ	いまにしすけゆき/著 なえむらさえこ/絵	麦書房	66	S42
ちいさいモモちゃん	松谷みよ子/著 菊池貞雄/絵	講談社	64	S42
チョコレート戦争	大石真/作 北田卓史/絵	理論社	65	S42
ながいながいペンギンの話	いぬいとみこ/作 山田三郎/絵	理論社	67	S42
ヌーチェのぼうけん	神沢利子/作 赤羽末吉/絵	理論社	66	S42
ぼくは王さま	寺村輝夫/作 和田誠/絵	理論社	67	S42
北極のムーシカミーシカ	いぬいとみこ/作 瀬川康男/絵	理論社	61	S42
ゆかいな吉四六さん	富田博之/著	講学館	60	S42
らしやうものの鬼	山本和夫/編著	偕成社	58	S42
エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット/作 ルース・クリスマン・ガネット/絵 わたなべしげお/訳	福音館書店	63	S42
大どろぼうホッツェンブロッツ	オトフリート・プロイスラー/作 中村浩三/訳	偕成社	66	S42
三人のおまわりさん	ウィリアム・ベン・デュボア/作 柳原良平/画 渡辺茂男/訳	学習研究社	65	S42
小さい魔女	オトフリート・プロイスラー/作 ウィニー・ガイラ/絵 大塚勇三/訳	学習研究社	65	S42
小さなスプーンおばさん	アルフ・ブリヨイセン/著 大塚勇三/訳	学習研究社	66	S42
デブの国・ノッポの国	アンドレ・モーロア/原作 那須辰造/文	偕成社	65	S42
長くつ下のピッピ	アストリッド・リンドグリーン/作 桜井誠/絵 大塚勇三/訳	岩波書店	64	S42
ピッピのゆかいな旅	メイ・ダランソン/作 工藤みち子/訳	偕成社	65	S42
ロタちゃんのおひっこし	アストリッド・リンドグリーン/作 山室静/訳	偕成社	66	S42
かわ	加古里子/作・画	福音館書店	62	S42
くちばし	ピアンキ/原作 敷内正幸/絵 田中か子/訳	福音館書店	65	S42
小さな目 3ねん4ねん ぼくらの詩集	朝日新聞社/編	あかね書房	67	S42



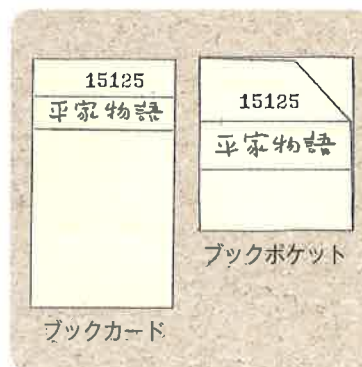
中央図書館の前の歩道が、まだ、今のように舗装されていません。女性のファッションが、懐かしい感じです。

昭和42年 蔵書冊数 38,622冊
閲覧者数 41,177人
閲覧図書数 54,006冊

1階のロビーに、ブラウン式のカードボックスがあります。この頃は、自分の探している本が図書館にあるかどうか、1枚1枚、カードを繰りながら探していました。図書館の職員も手書きでカードを作っていました。武蔵野市では、昭和52年にそれまでの閉架式から、開架式ブラウン方式に変わりました。こんなカードや貸出方法でした。学校図書室もこんな感じでしたね。覚えていらっしゃるでしょうか？



「図書館講習資料」
「市民の図書館 増補版」より





2階の閲覧室にも受付がありました。地球儀が置いてあります。友人と一緒に勉強しに来ている学生達の姿が写っています。

昭和55年4月 武蔵野市立図書館朗読奉仕の会 発足

すべての人が読書を楽しめるように、目の不自由な方に対して、市報や新聞、図書の朗読テープの作成などを行うボランティア団体ことができました。現在も多くの会員が技術の研鑽を積み、活躍しています。また、点訳を行っている六実会も活動しています。



図書館には、録音室もありましたが、会員の皆様は、少しでも早く、利用者の要望に応えようと、当時、自宅で録音したものも多く、街や家の中のざわめきがかすかに感じられるものもありました。図書はカセットテープでの提供でしたが、今は、CD-Rに変わってきています。

昭和57年5月 武蔵野市立西部図書館開館

境5丁目にある都営住宅の改築に伴い、その一角に、西部図書館が開館しました。蔵書は、一般書が14,000冊、児童書が9,000冊でした。これに伴い、武蔵野市立武蔵野図書館から、武蔵野市立中央図書館に名称変更し、市内に2館の図書館ができました。



西部図書館の庭からは、中央線の電車がまじかで見えるため、子ども達に大人気でした。また、藤の花の季節には、藤棚の下で読書することもできました。今は、武蔵野ふるさと歴史館として、改装され、皆様にご利用いただいています。

昭和57年	蔵書冊数	183,881冊
	貸出冊数	333,192冊
	貸出登録者数	27,894人

昭和62年11月 武蔵野市立吉祥寺図書館開館

吉祥寺図書館は、地域環境の改善を願う、市民と行政の連携により誕生しました。この開館を機に、中央・吉祥寺図書館は火・水・金曜日は午後7時まで、西部図書館は、火・金曜日は午後7時までという夜間開館が始まりました。平成4年に、中央・吉祥寺図書館は、平日午後8時までと開館時間が延長されました。これは多摩地区では初めてのことでした。



吉祥寺図書館のシンボルツリーは、駐輪場にある大ケヤキです。これは、もともとこの地にあったものを少し場所を移動して植え替えたものです。

吉祥寺図書館は、平成29年9月より少しお休みをいただいて、平成30年4月よりリニューアルオープンします。

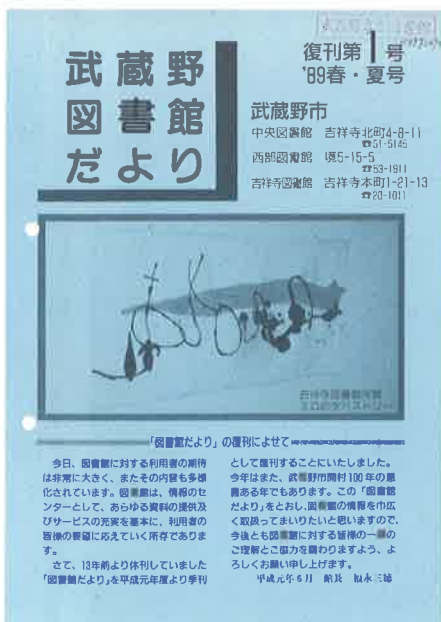
昭和62年	蔵書冊数	276,610冊
	貸出冊数	619,103冊 (吉祥寺図書館は2か月分)
	貸出登録者数	38,813人

平成元年7月 第1回としょかんこどもまつり開催 テーマは恐竜でした。

この頃、夏の渇水で、プールが使えない年が何回かありました。夏に子どもたちが楽しめる読書機会を作ろうと始めた事業が現在に続いています。



平成元年夏 図書館だより 復刊



昭和29年に第1号を発行した図書館だよりは、昭和34年の第59号の後、発行が途絶えていましたが、平成元年に復刊しました。判型が変わったり、変化はありますが、現在も継続中です。

ちなみに特集記事は、「図書館こどもまつり」ほかでした。

平成5年5月から、年4回の雑誌リサイクルが始まりました。平成9年に除籍資料のリサイクルが始まるまで、約4年間実施されました。この写真を写した日はお天気がよく、うらかな中にもにぎわっている様子がわかります。



平成5年4月 どっきんどようび 開始

前の年から、学校が週5日制になり、毎月第2土曜日に、児童対象の行事「どっきんどようび」をはじめました。

平成7年4月 現・武蔵野市立中央図書館開館

現在の場所に中央図書館が開館しました。これを機に利用者用端末機（館内OPAC）の利用が開始されました。



オープニング
の日の行列

平成7年度
蔵書冊数 414,478冊
貸出冊数 1,155,564冊
貸出利用登録者数 98,861人

武蔵野市では、昭和60年12月から、コンピュータによる貸出や検索が始まりました。でもまだ、平成7年当時は、端末機もこんなに大きくて、カウンターには置けないので、別に専用の置台を使用していました。



平成14年5月 むさしのブックスタート始まる

1992年にイギリスで始まったブックスタートは、2000（平成12）年に杉並区で試験実施され、その後日本各地に広まってきました。武蔵野市では、この頃、都立図書館からの派遣職員がおり、この事業の意義や趣旨をいち早く知ることができたこともあって、保健センターでの乳幼児健診に合わせ、0歳児・3歳児へのブックスタートを始めました。親子のきずなを深めながら、乳幼児が読書に親しむ最初のチャンスとなることを願う事業です。



平成17年3月 第1回読書感想作品募集事業(愛称「どっかん」)を開催

武蔵野市の図書館について、ご意見をいただく図書館運営委員会の会議の中で、委員の皆様から、「図書館で読書を推進できる事業を何か企画できないか」ということをきっかけに始まったこの事業は、平成18年12月より、子ども文芸賞に引き継がれました。更に、平成28年度より、武蔵野市子ども図書館文芸賞に名称変更し、現在に引き継がれています。



「どっかん」
キャラクター

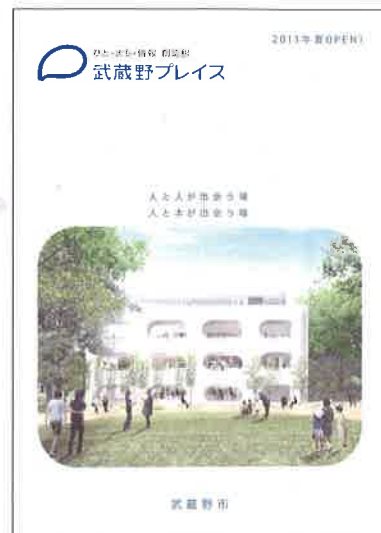
平成23年7月

武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス開館

武蔵境駅南口の農水省食糧倉庫跡地の活用については、長期計画をはじめ、さまざまな検討の場で長く協議されてきました。その後、平成9年に市議会に設置された特別委員会での議論を踏まえ、境南ふれあい広場公園を隣接する「知的情報との出会いの場」として、武蔵野プレイスは、開館しました。皆様に愛され、開館1年足らずの平成24年4月に来館者数が101万人を超えました。平成29年7月には来館者が1,000万人になりました。

境地区の駅近くにも図書館をという、地域の要望がようやくかなった複合機能施設です。青少年の居場所づくりという視点から、様々な取り組みを行っています。

平成23年度 蔵書冊数 793,110冊
貸出利用登録者数 113,704人
貸出数（全資料） 2,194,270点
予約件数 451,239点



そして、平成28年度 武蔵野市立図書館の蔵書数は、91万8千冊を超え、1日平均貸出数は8,600（冊・点）を超えました。これからも皆様の読書機会を支える図書館でありたいと思っています。

参考にした図書館の資料一覧

書 名	分 類	書誌番号
武蔵野市教育史 第2巻	M O2-10	178440
武蔵野史百年史 記述編 1	M B1-10	656013
武蔵野史百年史 記述編 2	M B1-10	688375
武蔵野史百年史 資料編 2下	M B1-10	232063
東京の図書館百年の歩み	O16. 2サ	340298
武蔵野市立図書館だより 第1号（昭和29. 5）～第59号（昭和34. 3）	M A1-10	1562852
武蔵野市立西部図書館	M A1-10	1204424
武蔵野市立吉祥寺図書館	M A1-10	1283937
としょかんのしおり	M A1-10	1465960
図書館案内 武蔵野市立図書館（紫）	M A1-10	1465959
図書館案内 武蔵野市立図書館（緑）	M A1-10	1465958
図書館案内 武蔵野市立図書館（水色）	M A1-10	1465957
武蔵野市立図書館案内 昭和23年12月	M A1-10	296275
武蔵野市立中央図書館	M A1-10	311482
武蔵野図書館だより 復刊第1号～第24号	M A1-10	231677
読書の動機づけ指導 歴代選定図書一覧【改訂版】	M A1-10	1417024

- ☆ 他に、図書館で保存していた記録用の写真から掲載しました。
- ☆ 武蔵野市発行の「事務報告書」「武蔵野市の図書館」を参考にしました。
- ☆ 閲覧希望の方は、カウンターまでお尋ねください。